

認定こども園黒松内保育園

園JOY vol.2

令和4年7月22日発行
発行責任者 佐藤 美次喜
編集責任者 三本木 由紀

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町黒松内303 メールアドレス
TEL 0136-72-3230 FAX 0136-75-7707 hoikuen@tsukushien.or.jp

開園 55 周年によせて

理事長 大代 貴輝

黒松内保育園は、昭和42年6月1日に開園され、本年度で設立55周年の節目の年を迎えることができました。これもひとえに、保護者の皆様、ご指導をいただきました黒松内町、教育委員会をはじめ行政機関の皆様、運営にご尽力を賜りました歴代の役員の皆様、そして深い愛情をもって日々、子ども達と向き合い、寄り添い続けていただきました職員の皆様のお陰と心より感謝とお礼を申し上げます。昭和42年に開園し、基本理念を「地域・親と共に子どもが未来に向かってたくましく生きる力を育む」と定め、高まる保育ニーズの中で、家庭に代わって保育を提供し、運営を続け、当法人の児童の部門として大きな成長を遂げて参りました。この55年の間、核家族化や昭和60年（1985年）制定の「男女雇用機会均等法」を受けて、女性の社会進出などにより、働きながら子育てをする家庭が増加し、保育ニーズが急激に高まり、55年間に約870名を超える園児の卒園を見届けて参りました。近年の保育をめぐる環境は、多様な働き方などに応じた子育て支援ニーズの増大により、多様な保育ニーズへの対応が求められています。また平成30年（2018年）4月から適用された、新保育所保育指針では、幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領と、幼児教育に関する記載がほぼ共通化され、これまでは福祉施設と位置付けられていた保育園が、重要な幼児教育の場でもあるということが明確に示されました。今後は0歳児から5歳児までの就学前教育を一貫して行い、小学校との接続強化において、重点的に取り組みを進めて参ります。生涯にわたる人間形成の基礎となる就学前の教育・保育について、地域のあらゆる保育ニーズに添えて、法人としての責務を果たしていくために、これまでの長年にわたる貴重な歩みを礎に、55周年を新たな出発点として今後10年、20年に向けて、職員一同、更なる質の高い教育・保育の提供に力を尽くし、努力していく所存でございますので、引き続き、ご指導 ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

交通安全教室

寿都警察署からおまわりさんが来て横断歩道の渡り方を教えてもらいました。



「右・左・右」を見て渡ろうとすると遠くにクルマをみつけて「あ！クルマ来てる！」としっかりまじめに約束を守ります。いつまでも渡れないので、そばで見守るおまわりさんもこの姿に苦笑い。おまわりさんにクルマを止めてもらいながら「運転手さんに横断歩道を渡りますよ〜！と知らせるために大きく手を挙げて上手に、そして安全に道路を渡ることができていました。これからも交通ルールをしっかりと守って、自分の命を守ります。



黒松内女性会様より雑巾の贈呈

★ありがとうございます★

黒松内女性会の皆さんより雑巾の寄付をして頂きました。60代から80代の会員43名の手作りで30年以上この活動を続けていらっしゃいます。保育園のリクエストに答えて、園児が使いやすい少し小さめサイズに塗ってきてくださいました。大事に使わせて頂きます。



劇団バクの公演【コロボックル】

6月28日、劇団バクのみなさんに来園いただき、「コロボックル」という北海道の森の中にひっそり暮している小人のお話を鑑賞しました。着ぐるみを着た等身大の演劇に子ども達も夢中になって観ていました。舞台上で繰り広げられるセリフや動きのやりとりは迫力満載でした！思いやり、やさしさ、自然環境、食育など見ているうちに「大切なもの」を感じます。言葉以上にダイレクトで伝わる観劇はとても面白かったです。

